

科学研究費助成事業（基盤研究（S））研究進捗評価

課題番号	24220013	研究期間	平成 24 年度～平成 28 年度
研究課題名	知の循環型社会における対話型博物館生涯学習システムの構築に関する基礎的研究	研究代表者 (所属・職) (平成27年3月現在)	小川 義和 (独立行政法人国立科学博物館・事業推進部・学習企画・調整課長)

【平成 27 年度 研究進捗評価結果】

評価	評価基準
A+	当初目標を超える研究の進展があり、期待以上の成果が見込まれる
○ A	当初目標に向けて順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が見込まれる
A-	当初目標に向けて概ね順調に研究が進展しており、一定の成果が見込まれるが、一部に遅れ等が認められるため、今後努力が必要である
B	当初目標に対して研究が遅れており、今後一層の努力が必要である
C	当初目標より研究が遅れ、研究成果が見込まれないため、研究経費の減額又は研究の中止が適当である

(意見等)

本研究は、博物館に「科学リテラシーパスポート」というシステムを導入し、対話型生涯学習システムを構築しようとするものである。全国を5地区に分け、開発したシステムを複数の協力博物館に導入・運用し、博物館の学習プログラム情報や多数のモニターの学習履歴を登録するなどして、博物館と利用者の双方向からのシステムの活用と改善を進め、期待した成果を十分に上げている。

しかしながら、当初は科学系博物館における利用を主な目的としていたこともあり、美術館・歴史博物館の利用者への広がり期待するには、より広い視野に立った学習プログラムの検討が望まれる。また、利用者側のニーズや視点をより反映する工夫も重要である。